

日本共産党区議会議員

Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告 ニュース 第30号

「品川区国民保護計画」が報告されました この品川でも軍事侵攻を想定した 具体的な訓練が行われることに!?



参院選まであと一月。品川でも各党の都議・区議が街頭に立つなど、あわただしくなってきました。安倍首相はなぜか参院選後の秋から消費税の論議を始めるとし、争点隠しは明白です。消費税アップや9条改憲を実行に移す議員を国会に送り出す訳にはまいりません。



漫画：安藤たい作

たこの日本が、こうした荒唐無稽な軍事衝突事態を想定し、国民不安をあり、引いてはこうした国際社会の平和外交の努力にも水を差すというのはいかなるものでしょうか。
同計画は既にホームページには掲載され、図書館等でも閲覧ができます。具体的にこの計画に基づいてどのような訓練が行われるのかは「白紙」(区側)とのことです。千葉県富浦町等ではすでにこのような訓練に小学生まで動員されています。ぜひ注視してください。

区民委員会には「計画」冊子と「資料編」、そして区民向けのパンフレットの計3冊が提出されました。パンフレットには「知っておこう!備えておこう!」と武力攻撃や大規模テロ等から身を守るためにと、この文字が躍っています。ある民主党議員は「区民に危機感を持ってもらうことは大事」と発言していました。しかし国際社会は、対話による外交という手段で真剣に国際平和秩序づくりに向け努力しています。あの超軍事大国のアメリカですらイラクに先制軍事攻撃を仕掛けたものの、思い通りにはならず国際的な批判を浴びるだけの結果となりました。そんな時、よりによって唯一の被爆国であり「国際紛争の解決にあたって武力の行使や威嚇という手段は使わない」と誓った

民主議員「危機感持ってもらう事は大事」

同計画は昨年3月議会の議決で設置された品川区国民保護協議会(共産党は反対)でのわずか3回の審議を経て策定されたもの。着上陸侵攻・弾道ミサイル攻撃などの「武力攻撃事態」や「大規模テロ」などの事態を対象としています。協議会のメンバーは陸上自衛隊幹部を含む区防災会議メンバーをそのまま「横滑り」。区は「国民保護法自体が防災基本法とほぼ似通っているため」と説明しますが、発生自体は防ぎようのない自然災害と、原因があり、世論と運動で防ぎうる戦争被害を並べて論じること自体、おかしな話です。また、同計画は住民避難の計画以外にも、学校・病院等公共施設の「提供」や、医療や輸送関係者等の「動員」の「計画」も義務付けています。単なる防災計画とは全く性格の異なるものだという事は明らかです。

あえて防災計画と並べて論じる「欺瞞」

私自身初の審議となる区民委員会が4日、開かれました。調査事項は①区民生活および地域活動推進②課税および納税③国民健康保険および国民年金④防災対策⑤中小企業振興対策⑥勤労者福祉行政⑦環境行政、など区民生活全般にわたります。また「報告事項」として「品川区国民保護計画の策定」についての報告もなされたのには驚きでした。

安藤たい作プロフィール '74年 宮城県仙台市生まれ33歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選し2期目。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。

安藤たい作ニュース は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。